

# 江戸前寿司に心にぎって

## 9組の夫婦が江戸前寿司を学ぶ

第4回女と男のわくわくトークは11月14日に公民館で行われ、9組の夫婦が江戸前寿司のにぎり方を学びました。

今回は、「女性に食べさせたい男の料理」をテーマに川俣町の掛田寿司の渡部和典さんを講師に招いて江戸前寿司にチャレ



◀真剣ににぎり方を学ぶ参加者とできあがったお寿司。

ンジ、マグロやイカのにぎり寿司の他、のり巻きや卵焼きの作り方を学びました。

参加者らは、寿司をにぎるのはほとんど未経験とあって、始めはなかなか形になりませんでした。が、渡部さんの指導を受けているうちにどんどん上達し、見事な江戸前のにぎり寿司が完成しました。

完成後は参加者全員で試食を行い、試食の席で参加した女性から夫へネクタイが送られました。

このネクタイは先月の広報いいたてで紹介した女性の手作りネクタイで、男性は照れながらもネクタイを受け取り、お礼を言っていました。

## こころのぼけっと

### 「主役の方に 向かって」

近頃うれしいことが続いています。何か？というと職員が村民に向かってとても積極的に振舞ってくれているということです。

公務員、つまり村民に奉仕する立場の者ですから、それは当たり前であり、また、これまでも一生懸命村民のため頑張ってきました。でも、「積極的」という点ではもう一歩でした。それが、ここにきて驚くほど前向きになってくれているのです。

今年の役場の玄関をご覧になったでしょうか？美しい花がいっぱいでとてもきれいでした。役場を訪れるみなさんに「やすらぎ」を与えたいと、全職員で水やりや手入れに余念がありませんでした。

また、先日は、職員による「役場消防隊」が発足しました。これは、日中、村に不在がちな消防団員の補完をしようと出来たもので

す。日中の火事の際は、役場にいる職員がいち早くかけつけて消火しようとの思いからで、今特訓中です。

秋の村まつりですが、公民館の作品展を、今年は夜の8時まで延長してくれました。さらに、夜訪れてくれる方に少しでも喜んでいただけるようにと、10数人の若手職員たちが夜集まって黄色いカボチャのくりぬきをしました。中にろうそくを立て、公民館の玄関に飾ってすてきな夜の雰囲気をつくってくれたのです。ほんの1例ですが、いずれも進んでやってくれているのですから、時に目頭が熱くなることもあります。

平成14年11月29日

飯館村長 菅野 典雄